

防災について考えよう

1月17日

『防災給食』

24年前(1995年)の1月17日、阪神淡路大震災が発生し、たくさんの尊い命が奪われ、たくさんの人々が被害を受けました。また、近年さまざまな地域で地震が発生しています。みなさんの住んでいる鳴門市でも、「南海トラフ巨大地震」が起きる可能性が高く、大きな被害をもたらすことが予測されています。自分や家族の命を守るためにも、日ごろから災害の備えについて考え、準備しておくことが大切です。(裏面参照)

1月17日は「防災とボランティアの日」



鳴門市学校給食センターでは、災害に備え「LLヒートレスカレー」を備蓄しています。「防災とボランティアの日」にちなんで、「LLヒートレスカレー」を給食に提供します。

「LLヒートレスカレー」について



〈特徴〉

- ・食物アレルギー特定原材料等27品目不使用
- ・温めずに食べることができる
- ・常温で5年間保管できる

※今回は温めて提供していますが、災害が起きたときには温められない場合があります。

今回の「LLヒートレスカレー」の他にも備蓄用の食品にはいろいろな種類のものがあります。実際に非常食を食べて、体験してみることも大切です。



災害が起こったとき、いつもと同じ食事をすることはできません。

この日のカレーも、災害が起きたときをイメージしながら食べてみてください。

また、毎日の食事ができていることに感謝し、改めて「命の大切さ」や「食べることができるありがたさ」について考えてみましょう。

◇鳴門市学校給食センターは防災対応機能を備えた施設です◇

鳴門市学校給食センターでは、災害時に電気や水道が止まっても米飯の炊き出しができるよう、米の備蓄や発電設備、ガスタンク、貯水槽を整備しています。

米飯の炊き出し訓練を行いました！



12月26日、鳴門市学校給食センターで、災害発生時に電気や水道が止まったことを想定した、炊き出しの訓練を行いました。発電機を使用し、貯蔵されているお米と水とガスを使って炊飯設備でごはんを炊き、配布できるよう小分けする練習をしました。



さいがいじ そな ～災害時に備えて～



いざという時のために、
かてい さいてい ぶん ぶん しょうかんぶんていど そな
家庭でも最低3日分、できれば1週間分程度の備えをしましょう！

さいがいびちくひん ✓災害備蓄品チェックリスト (家庭での備蓄)



しょくひん 《食品》

- 飲料水 (箱入りペットボトルなど、1人1日3ℓを目安に用意)
- 乾パン 缶詰 アルファ化米 レトルト食品 ドライフーズ
- インスタント食品 チョコレート・あめ 梅干し など

・ポイント・

○非常食こそ自分の口に合うものを

災害時の慣れない環境では、食欲も減退し体調も崩しがちです。自分の好みに合った、おいしいものを用意することが大切です。

せいかつようひん 《生活用品》

- カセットコンロ 鍋 やかん ラップ アルミホイル
- 皿・コップ 割りばし・スプーン・フォーク バスタオル
- 毛布・寝袋 雨具 電池類の予備 など



・ポイント・

○熱源 (火) 等の確保・・・電気、ガス、水道は使えなくなる可能性が高い。

○節約のための工夫を・・・【例】食事の際にラップなどを用意し、食器の上に敷くと食器が汚れないので、洗わずに済み、水の節約になる。

○寒さをしのげる用意を忘れずに

ひじょうもちだし ぶくろ しようい ◎非常持ち出し袋を用意しておきましょう！

1人ひとつ、やく1日すごせるものを用意しよう！

ぶくろ

・両手が使えるリュックサック型、肩ひもが太いもの。

おも

- ・大人男性 10～15kg
- ・大人女性 5～10kg
- ・小学生 3～5kg

だいじ

- ・絶対に必要なものから入れる。 ・すぐ持ち出せる場所に日ごろから置いておく。
- ・非常持ち出し品を年に2回はチェックし、賞味期限や使用期限を確認しておく。
- ・家庭で必要なものを話し合い、確認しておこう！

